

D - O N L I N E

第19号発行者
権・村上
古川・山口
奥田・高階・玉井・長崎

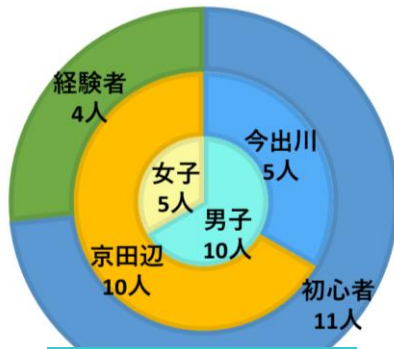
新歓活動

今年度からは対面での勧誘が部分的に許可され、オンラインと対面を併用した新歓活動を行いました。

今年度の新歓活動では、昨年度同様に飲食を伴う勧誘は禁止されていましたが、4月3日(日)～6日(水)の4日間はブースでのみ対面での勧誘を許可されました。

ここ2年間はオンラインでの勧誘をおこなっていましたが、久しぶりに行われた対面での勧誘は活気にあふれ、多くの新入生がイベントや体験練習に参加してくれました。

2022年度の新歓活動では、対面での勧誘が再開する中、親密に新入生との関係を築き、15名もの新入生を迎え入れることが出来ました。



新入生情報



イベント後の集合写真



ブースでの勧誘

～新入生インタビュー～

Q. 入部の決め手を教えてください！

少林寺拳法の経験者だったこともありますが、体験練習の際に先輩のやさしさや雰囲気魅了され、自分もこんな風になりたいと憧れたからです。

(田口開智・理工学部情報システムデザイン学科・京都府立南陽高等学校)



春季強化練習会

5月2日(火)～5日(木)の3日間、同志社大学京田辺キャンパス真誠館にて春季強化練習会を行いました。例年では春合宿ですが、今年はコロナ禍ということもあり宿泊を伴わない形での開催となりました。この2年間はオンラインでの開催となっていました。今年3年ぶりの対面での開催ということもあり、監督、コーチ、トレーナーの方々だけでなく、たくさんのOB・OGの方々にも道場にお越しいただきました。

春季強化練習会1日目には入部式が行われ、男子10名、女子5名、計15名の1回生が入部しました。新入部員のうち7割が初心者であり、入部の動機やこれからの意気込み、どのように成長したいのかを述べてくれました。

今回は1回生を迎えた新チームとしての一体感をもつこと、基本力・技術力を向上させることを目的として、3日間の修練に取り組みました。練習の合間には指導者の方々による御講話や次期幹部である3回生による座学が行われ、少林寺拳法についてや修練の目的についてあらためて考えることができました。

コロナも落ち着き始め、例年に近い活動ができるようになってきています。春季強化練習会は9時～18時まで練習を行いました。これは3年ぶりの長時間にわたる練習でした。体力的に辛いこともありましたが、皆で声を掛け合い励ましながら一丸となって乗り越えることができました。

また、1回生も指導者の方々やOB・OGの方々、先輩方との関わりの中で部の雰囲気や練習にも慣れ、春季強化練習会が終わるころには心身ともに成長できたのではないのでしょうか。この3日間を経て、新たに1回生を迎えた新チームとしての一体感を高めることができました。



運用法練習の様子



入部式の様子



指導者の方々
とOBの方々



入部者宣誓

OB・OG総会

7月9日(土)に同志社大学京田辺キャンパス別館会議室にて3年ぶりにOB・OG総会が開催されました。現役部員は総会の後半から参加し、前川監督より現役活動報告をしていただいた後に、1回生による自己紹介、幹部交代式が行われました。

今年入部した1回生(第62代)15名が個性あふれる自己紹介をしてくれました。OB・OGの方々には同志社大学体育会少林寺拳法部HPのOB・OG専用アルバムにて全員分の動画が閲覧できますので、是非御覧ください。

また、この日をもって第59代から第60代に幹部役職が引き継がれました。新幹部と共に我々も気持ちを新たに精進します。

～新・旧主将にインタビュー～

Q1. 今後の意気込みを教えてください



「世界一のチーム」を作るべく、一人一人が「イキイキと」そして「主体的」に行動できる部活動を目指します。その第一歩としてまず、今季は逃してしまった関西総合優勝を部員全員で奪還したいと考えています。そのために主将として先陣を切りながら時には背中を示し、時には後ろから支えていく所存です。

(高橋希実・スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科)

Q2. 新幹部に激励をお願いします



幹部として時には大変なこともあると思いますが、6人が支え合ってチームを引っ張ってほしいなと思います。そして60代らしく明るく、元気にチームを盛り上げてもらえることを期待しています。

(森岡勇翔・社会学部社会学科)



60代新幹部

京都府大会

6月19日(日)に島津アリーナ京都にて、2022年少林寺拳法京都府大会が開催されました。この大会で選ばれたペアは、京都府代表として11月に大阪で行われる全国大会に出場することが出来ます。

我が部からは演武では1組が出場し3組が、運用法では5組が出場し3組が全国大会に出場する権利を獲得しました。

大学生男子の部では、級拳士も有段者と同じ階級に出場しますが、首藤(理工2)・西島(法2)ペア、奥田(スポ健2)・藤井(スポ健2)ペアの2組が、武階に関係なく非常に良い結果を残しました。

部員インタビュー

Q. 茶帯として黒帯と同じ階級に出た感想を教えてください

有段者と勝負できるまたとない機会なので2位以内を目指して張り切っていました。壁は高かったです。

(藤井俊輔・スポーツ健康科学部・スポーツ健康科学科)



ペア制度の方々に丁寧に教えてもらえた分、申し訳ない思いでいっぱいでした。

(奥田結人・スポーツ健康科学部・スポーツ健康科学科)

Q. 全国大会の意気込みを教えてください

自分のために、周りの人のために、さらに高みを目指して頑張ります。

(喜多ある・スポーツ健康科学部・スポーツ健康科学科)



集合写真



記念撮影

代表選出者

- 大学生女子の部**
 ・高橋(スポ健3) - 喜多(スポ健2)
 ・室永(生命3) - 長崎(スポ健2)
- 女子護身技法の部**
 ・玉井(スポ健2) - 第58代山本さん
- 男子運用法の部**
 ・柳田(生命4) - 玉井(スポ健2)
 ・岸本(商3) - 宮坂(理工3)
- 女子運用法の部**
 ・高橋(スポ健3) - 喜多(スポ健2)
 ・室永(生命3) - 長崎(スポ健2)
- 論文の部**
 ・上辻(心理4)

11月に開催される全国大会では、1組でも多く入賞できるように、秋シーズンはこれまで以上に日々の修練を大切に精進してまいります。応援の程宜しくお願致します。

関西学生大会

6月18日(土)に、尼崎記念公園ベイコム総合体育館にて60周年記念少林寺拳法関西学生大会が開催されました。総合優勝2連覇を目指し臨みましたが、惜しくも総合2位という結果に終わりました。

総合優勝という目標は達成できませんでしたが、部員全員が精一杯努力しました。

特に、男子茶帯の部・男女茶帯の部・女子二段以上の部では非常に良い成績を収めています。

男女茶帯の部で1位になった首藤(理工2)・西島(法2)ペアに「今大会で得たものは？」とインタビューしたところ、迷わずに「達成感！」と答えてくれました。体格やパワー・スピードの違いによる難しさに2人で向き合い、工夫して修練に励んだからこそ「達成感」だったのではないかと思います。

部員インタビュー

Q. 総合優勝獲得には何が必要でしたか？

「総合優勝獲得には運用法での入賞が足りなかったのだと感じます。突き蹴りのスピードや威力、試合勤が同志社大学には足りないのが現状です。演武だけでなく運用法においても、通用するような基本力、そしてそれらを応用できるように、練習を重ねて運用法のレベルアップをすることが不可欠です。」

(森岡勇翔・社会学部社会学科)

今大会の結果を踏まえて、運用法の強化や基本力の向上などさまざまな課題が浮き彫りとなりました。これらの課題に「チーム同志社」で一丸となり更に精進していきますので、ご声援の程宜しくお願致します。



集合写真



入賞者

- 自由組演武男子茶帯の部**
 ・奥田(スポ健2) - 藤井(スポ健2) 1位
 ・神田(法2) - 城田(社2) 2位
- 自由組演武男女茶帯の部**
 ・首藤(理工2) - 西島(法2) 1位
- 自由組演武女子二段の部**
 ・高橋(スポ健3) - 喜多(スポ健3) 1位
 ・室永(生命3) - 長崎(スポ健2) 3位
- 自由組演武男女有段の部**
 ・玉井(スポ健2) - 隻手(社1) 3位
- 団体演武の部**
 ・同志社大学A (高橋・室永・喜多・長崎・高階・隻手) 3位
- 男子運用法軽量級の部**
 ・玉井(スポ健2) 2位

同志社大学・立教大学合同練習会

6月26日(土)に同志社大学京田辺キャンパス真誠館にて同志社大学・立教大学合同練習会を開催し、翌日は回生ごとに分かれて観光をするなど親睦を深めました。新型コロナウイルスの影響もあり、3年ぶりの実施となりました。

4回生にとっては1回生以来、3年ぶりの再会となり、1〜3回生の大半の部員にとっては初めての交流の機会となりました。最初は初めて会う立教大学の方々と話すことに緊張を隠せない様子でしたが、練習前に輪になって自己紹介をすることで少しずつ緊張がほぐれた様子でした。

合同練習会では、交流を図りながらも、互いに高めあう、ハードな練習を行いました。基本練習と全体技術練習は、それぞれ各大学の主将と監督が交互に主座に立って行われました。そんな練習の中、同志社大学の主将森岡の練習では、みっちり移動稽古をおこない、「一つにも増してきつかった」と言っている部員もいました。

合同練習会の後半では、演武披露と運用法団体戦を行いました。特に運用法団体戦では、同志社大学・立教大学を代表するそれぞれ6名の部員が運用法の試合を行いました。最終ラウンドは主将同志の対戦となり、合同練習会の中でも1番の盛り上がりを見せました。

春シーズンには、最近開催することができていなかった合同練習会も復活し、秋シーズンには関関同立合同練習会の開催も予定しています。

秋学期の練習や行事を通して、OB・OGの皆様にお会いできますことを部員一同心待ちにしております。



移動稽古の様子



立教大学との交流の様子